

「全国胃癌登録調査（内視鏡治療（内視鏡的粘膜切除術 EMR/内視鏡的粘膜下層剥離術 ESD））症例登録」へのご協力のお願い

—平成16年1月1日以降に当科において早期胃癌の内視鏡治療（内視鏡的粘膜切除術 EMR/内視鏡的粘膜下層剥離術 ESD）を受けられた方へ—

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 教授 岡田裕之

分担研究者 岡山大学病院 光学医療診療部 講師 河原祥朗

岡山大学病院 消化器内科 助教 川野誠司

岡山大学病院 総合内科 助教 岩室雅也

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学

助教 神崎洋光

岡山大学病院 消化器内科 医員 河野吉泰

岡山大学病院 消化器内科 医員 三浦 公

岡山大学病院 消化器内科 医員 後藤田 達洋

岡山大学病院 消化器内科 医員 榮 浩行

岡山大学病院 消化器内科 医員 大林 由佳

1. 研究の意義と目的

日本胃癌学会では、学会に参加する施設で診療を行った早期胃癌の患者さまの診断・治療情報を登録し、胃癌の発生・受療の状況、予後を明らかにし、胃癌の予防、胃癌対策、胃癌医療の向上に役立てる取り組みをしています。

当院消化器内科は、上記の趣旨に賛同し、登録事業に協力しております。当院で治療を行いました患者さまについて、個人情報削除したあと、診断・治療情報を日本胃癌学会事務局に届出いたします。

2. 研究の方法

1) **研究対象**：岡山大学病院の消化器内科で診療を行っている早期胃癌の患者さま

2) **調査期間**：平成23年9月1日～平成33年8月31日

3) **研究方法**：

初回は、平成23年9月1日に、平成16年1月1日から平成16年12月31日までの間に当院の消化器内科において早期胃癌と診断され内視鏡治療を受けられた患者さまの診断・治療情報を調査します。

1年後には平成17年に治療を受けられた患者さまの調査を行い、以降同様に年に1回の調査を行います。

4) **調査票等**：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプラバシーの保護には細心の注意を払います。

・ 年齢、性別、既往歴

・ 早期胃癌の診察所見、内視鏡治療内容、胃癌の再発の有無、予後のデータ

5) **情報の保護**：

調査情報は岡山大学病院 消化器内科で厳重に取り扱います。電子情報はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。お申出がなければご了解を得たものと判断させていただきます。

<問い合わせ・連絡先>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 神崎洋光 電話：086-235-7219 ファックス：086-225-5991

外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

日本胃癌学会・登録委員会 委員長・新潟県立がんセンター新潟病院 梨本 篤
新潟大学医科歯科総合病院 医療情報部 赤澤宏平